

経膣分娩の安全性は検討しがたい。研究結果の項で示したように、欧米からの報告でも、HIV 感染妊婦の適切な分娩法の選択に関して未だ一定の見解が得られていない。今後も、研究班で本邦の HIV 感染妊娠の現状を把握し、最新の海外報告も参考にしながら、経膣分娩の安全性については検討を重ねる必要がある。ただし抗ウイルス薬投与下での選択的帝王切開の有効性に関して、統計学的有意差を認めるとするヨーロッパの報告と認めないとするインドの報告があるものの、経膣分娩の方が優るといふ報告はないことを考慮すべきである。母子感染率のみでなく、合併症を含む手技上の安全性も含めて、経膣分娩と選択的帝王切開のメリット・デメリットを患者とその家族に十分説明した上で患者側に選択をゆだねることが適切であろう。ただ現在の本邦の医療事情下では、やはり HAART を行った上で選択的帝王切開を推奨してよいのではないかと考える。

6. HIV 母子感染予防対策の改訂

妊娠早期の HIV スクリーニング検査による感染の診断、HAART による抗ウイルス療法、陣痛発来前の選択的帝王切開による分娩および児への人工栄養は、わが国においては必須の HIV 母子感染予防対策と考えられる。今後は HIV スクリーニング検査の徹底化を図るための行政的・医学的介入の重点化、抗 HIV 療法の標準化、診療施設の改変と偏りの是正、帝王切開時の AZT 点滴や児への AZT 予防投与の必要性、選択的帝王切開と経膣分娩の比較に関する臨床試験の必要性などについて検討していくことが重要であると考えられる。

E. 結論

平成 19 年度産婦人科・小児科統合データベースの更新により、2007 年 3 月までに報告された本邦における HIV 感染妊娠数は 503 例におよぶことがわかった。関東・甲信越ブロック

を中心とする地域分布に変わりはないが、日本人感染妊婦の占める割合は増加しつつあり、エイズ動向委員会の報告と相まって HIV 感染妊娠はまさしく日本人女性の問題になりつつある。HIV 感染妊婦の医療保険加入状況やパートナーとの正式な婚姻関係をみても、HIV 非感染妊婦との違いを同定することは困難であろう。HIV 感染妊娠の診療におけるエイズ拠点病院の再整備の必要性も示唆される。平成 19 年度は産婦人科病院および診療所両面からの全国調査により、これまで妊娠歴として処理し未登録であった過去の妊娠例も追加登録することで産婦人科データベースは昨年度報告より 93 例も増加し、2008 年 3 月までに報告された HIV 感染妊娠数は 519 例となった。昨年度のような HIV 感染妊娠の急激な増加は 2007 年には見られなかったが、例年並みの 32 例の妊娠転帰が報告された。HAART による抗ウイルス療法や選択的帝王切開を中心とする HIV 母子感染予防対策が全国に浸透していることが確認されたものの、HIV スクリーニング未施行と無治療による経膣分娩では約 50% の確率で発生する HIV 母子感染が 2000 年以来 6 年ぶりに 2006 年の経膣分娩例で報告された。文献的考察による経膣分娩の可能性に関する検討からは HAART 施行下における選択的帝王切開分娩の有意性は明確にはならなかったため、母子感染率のみでなく、合併症を含む手技上の安全性も含めて、経膣分娩と選択的帝王切開のメリット・デメリットを患者とその家族に十分説明した上で患者側に分娩法の選択をゆだねることが適切であろうと結論する。ただ医療者側に分娩法の選択が委ねられることがあるとすれば、現在の本邦の医療事情下では、やはり HAART を行った上で選択的帝王切開を推奨してよいのではないかと考える。

F.健康危険情報

特になし。

G. 研究業績

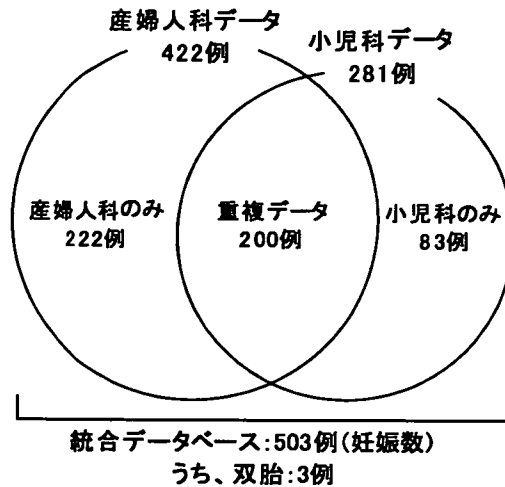
1. 論文発表

1. Yoshida M, **Matsuda H**, Fukuda I, Furuya K. Sudden cardiac arrest during cesarean section to epidural anaesthesia using ropivacaine: a case report. Arch Gynecol Obstet. 2008; 277(1): 91-94.
2. Shibasaki T, **Matsuda H**, Furuya K. Haptoglobin therapy during pregnancy for paroxysmal nocturnal hemoglobinuria with renal failure. Int J Gynaecol Obstet. 2007; 98(3): 267-268.
3. Shibasaki T, **Matsuda H**, Kawakami Y, Furuya K. Fetal leukemia with umbilical artery embolism and circulatory failure. Obstet Gynecol 2007; 109: 521-523.
4. 谷口晴記、塚原優己、**喜多恒和**、和田裕一、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之. HIVの母子感染と対策. 日本臨床 2007; 65: 518-522.
5. 吉川智之、**喜多恒和**. ヒト乳頭腫ウイルス (HPV) と子宮頸癌. 臨床検査 2007; 51: 861-865.
6. 稲葉憲之、大島教子、西川正能、岡崎隆行、庄田亜紀子、根岸正実、林田志峯、稲葉未知世、和田裕一、**喜多恒和**、外川正生、塚原優己、名取道也、牛島廣治、戸谷良造、五味淵秀人、尾崎由和、**吉野直人**、早川智、田中憲一、熊曙康. 特集：母子感染をめぐる諸問題 予防と対策「スクリーニング無くして対策無し」. 日本エイズ学会誌 2007; 9: 6-10.
7. 塚原優己、相楽裕子、**喜多恒和**、嶋貴子、矢永由里子、外川正生、大金美和、稲葉憲之. 感染女性の妊娠・出産・育児支援. 日本エイズ学会誌 2007; 9: 116-119.
8. **吉野直人**. HIV/AIDS ワクチン開発の基礎的研究および日本における母子感染の臨

床的・疫学的研究. 日本エイズ学会誌 2007; 9: 209-216.

9. **松田秀雄**. 妊婦のパルボウイルス感染症—リコ病者と接触した可能性がある妊婦から相談されたら—. 日本産科婦人科学会雑誌 2007; 59 :1077-1083.
 10. 水主川純、**箕浦茂樹**. 肝炎ウイルスのスクリーニング検査と陽性例の取り扱い. 産科と婦人科、74(11):1271-1274,2007.
 11. **松田秀雄**. 母子感染 -ウイルス感染症-産婦人科の実際. 2007; 56: 1904-1908.
 12. **井上孝実** 藤原多子、中原辰夫、岡本早苗、柴田大二郎、今井陽子、後藤清二、片平智行、谷口晴記、戸谷良造、鈴置洋三. 名古屋医療センターにおける HIV 感染妊婦 31 例の臨床的統計. 東海産婦人科学会雑誌 2006 ;43.
- ### 2. シンポジウム・特別講演
1. **松田秀雄**. (シンポジウム) 免疫グロブリンを用いた先天性サイトメガロウイルス (CMV) 感染症の胎児治療 第 25 回日本周産期・新生児医学会周産期シンポジウム. 2007.1.大阪.
 2. **喜多恒和**. (特別講演) わが国における HIV 感染妊娠の現状. 第 266 回東京産婦人科医会臨床研究会, 2007.11. 東京.
 3. **喜多恒和**、稲葉憲之. (シンポジウム) HIV 感染妊娠の自然 (経膈) 分娩. 第 21 回日本エイズ学会学術集会, 2007.11. 広島.
 4. **喜多恒和**、塚原優己、稲葉憲之. (シンポジウム) HIV 母子感染予防対策. 第 23 回日本環境感染学会総会, 2008.2. 長崎.
- ### 3. 一般発表
1. 林公一、和田裕一、蓮尾泰之、明城光三、稲葉淳一、**喜多恒和**、塚原優己、谷口晴記、

- 稲葉憲之. 母乳投与によるHIV母子感染における妊婦HIVスクリーニング検査の意義について. 第59回日本産科婦人科学会学術講演会, 2007.4. 京都.
2. 塚原優己、谷口晴記、山田里佳、蓮尾泰之、明城光三、稲葉淳一、林公一、早川智、喜多恒和、和田裕一.妊婦HIVスクリーニング検査が母子感染予防に及ぼす効果に関する試算. 第59回日本産科婦人科学会学術講演会, 2007.4. 京都.
 3. 喜多恒和、松田秀雄、工藤一弥、岩田みさ子、小早川あかり、箕浦茂樹、佐久本薫、早川智、塚原優己、和田裕一、稲葉憲之. わが国におけるHIV感染妊婦の現状と経膈分娩の安全性に関する検討. 第59回日本産科婦人科学会学術講演会, 2007.4. 京都.
 4. 松田秀雄、喜多恒和、吉野直人、井上孝実、小林裕幸、佐久本薫、高野政志、中西美紗緒、箕浦茂樹、岩田みさ子、清水泰樹、宮崎泰人、高橋尚子、金子ゆかり、稲葉憲之. 本邦におけるHIV感染妊娠と母子感染予防対策の現状. 第25回日本産婦人科感染症研究会, 2007.6. 東京.
 5. 谷口晴記、塚原優己、川戸美由紀、源河いくみ、山田里佳、嶋貴子、大金美和、和田裕一、喜多恒和、外川正生、稲葉憲之. 妊婦HIVスクリーニング検査が母子感染予防におよぼす効果に関する検討. 第25回日本産婦人科感染症研究会, 2007.6. 東京.
 6. 水主川純、定月みゆき、箕浦茂樹、國方徹也、松下竹次: 妊娠27週に preterm PROMとなったHIV合併妊娠の1例. 第43回新生児・周産期医学会, 2007.7. 東京.
 7. 喜多恒和、吉野直人、和田裕一、外川正生、塚原優己、箕浦茂樹、谷口晴記、大場悟、戸谷良造、稲葉憲之. 本邦におけるHIV感染妊娠の発生と母子感染予防対策の現
- 状. 第21回日本エイズ学会学術集会, 2007.11. 広島.
8. 吉野直人、和田裕一、喜多恒和、蓮尾泰之、林公一、矢永由里子、高橋尚子、鈴木智子、塚原優己、外川正生、戸谷良造、稲葉憲之. 妊娠女性に対するHIVスクリーニング検査実施率の年次変化. 第21回日本エイズ学会学術集会, 2007.11. 広島.
 9. 仲宗根正、兼清優、吉野直人、網康至、山本直樹. Cell-Associated Virusを用いたHIV/AIDSサル動物モデル. 第20回日本エイズ学会, 2007.11. 広島.
 10. 星野伸、村松友佳子、関水国大、井上孝実、瀧本哲也、美濃和茂、金田次弘、堀部敬三. 母子感染予防目的で投与した26例におけるジドブジンシロップ内服による副作用. 第21回日本エイズ学会学術集会.2007. 11. 広島.
- H. 知的財産権の出願・登録状況
特になし。



出生児数:357例

図 1 平成 19 年度産婦人科・小児科統合データベース構成(妊娠数による)

表 1 HIV 感染妊娠の報告都道府県別・年次別分布(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

ブロック	都道府県	年次別																												総計	(%)	ブロック別	
		1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	不明	小計	(%)					
北海道 ・東北	北海道											1							2	1							1	5	1.0%	19	3.8%		
	青森												1															1	0.2%				
	岩手																	1										1	0.2%				
	宮城																1				1		1					6	1.2%				
	秋田																					1						2	0.4%				
	山形																					1						0	0.0%				
関東 ・甲信越	福島																									2	4	0.8%	22	4.4%			
	茨城																										1	0.2%					
	栃木																										1	0.2%					
	群馬																										1	0.2%					
	埼玉																										1	0.2%					
	千葉																										1	0.2%					
	東京																										1	0.2%					
	神奈川																										1	0.2%					
	新潟																										1	0.2%					
	山梨																										1	0.2%					
	長野																										1	0.2%					
北陸 ・東海	富山																										2	0.4%	1	0.2%			
	石川																										0	0.0%					
	福井																										2	0.4%					
	岐阜																										1	0.2%					
	静岡																										1	0.2%					
	愛知																										1	0.2%					
近畿	三重																										1	0.2%	3	0.6%			
	滋賀																										1	0.2%					
	京都																										1	0.2%					
	大阪																										1	0.2%					
	兵庫																										1	0.2%					
	奈良																										1	0.2%					
中国 ・四国	和歌山																										1	0.2%	0	0.0%			
	鳥取																										0	0.0%					
	島根																										0	0.0%					
	岡山																										0	0.0%					
	広島																										0	0.0%					
	山口																										0	0.0%					
	徳島																										1	0.2%					
	香川																										1	0.2%					
	愛媛																										1	0.2%					
	高知																										1	0.2%					
九州 ・沖縄	福岡																										1	0.2%	6	1.2%			
	佐賀																										1	0.2%					
	長崎																										0	0.0%					
	熊本																										0	0.0%					
	大分																										0	0.0%					
	宮崎																										0	0.0%					
鹿児島																										1	0.2%						
沖縄																										1	0.2%						
合計		1	0	0	2	1	4	2	6	9	17	19	25	29	40	40	40	41	41	34	34	30	35	38	49	3	4	503	100.0%	503	100.0%		

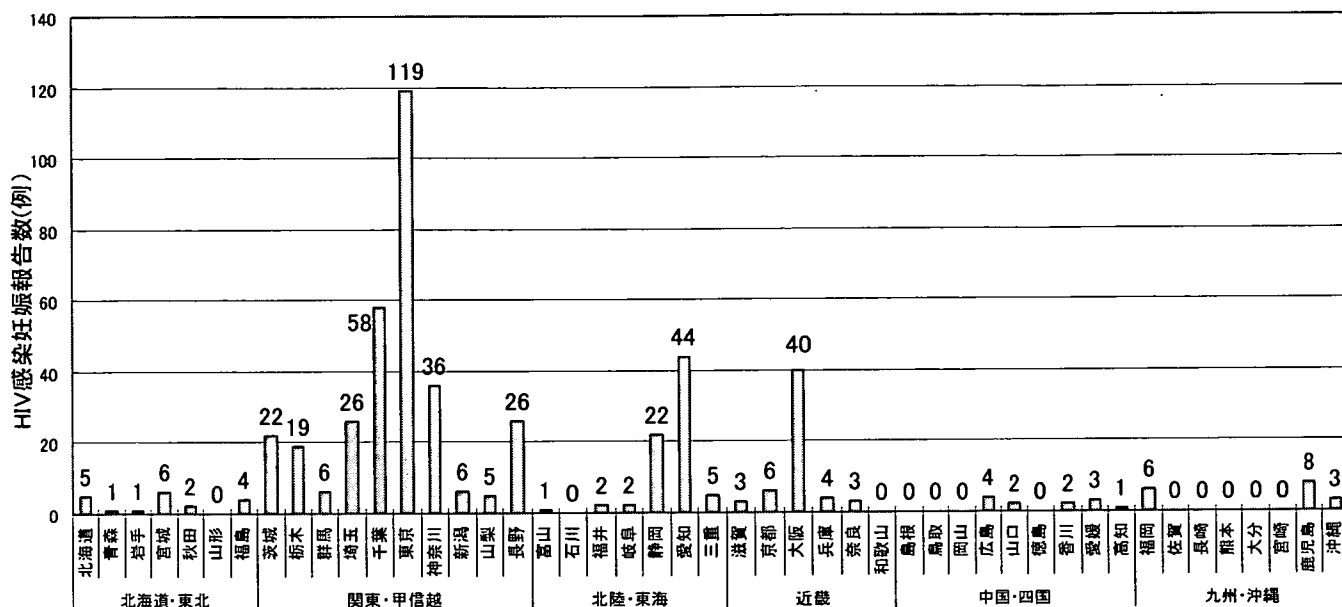


図 2 HIV 感染妊娠の報告都道府県別分布
(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

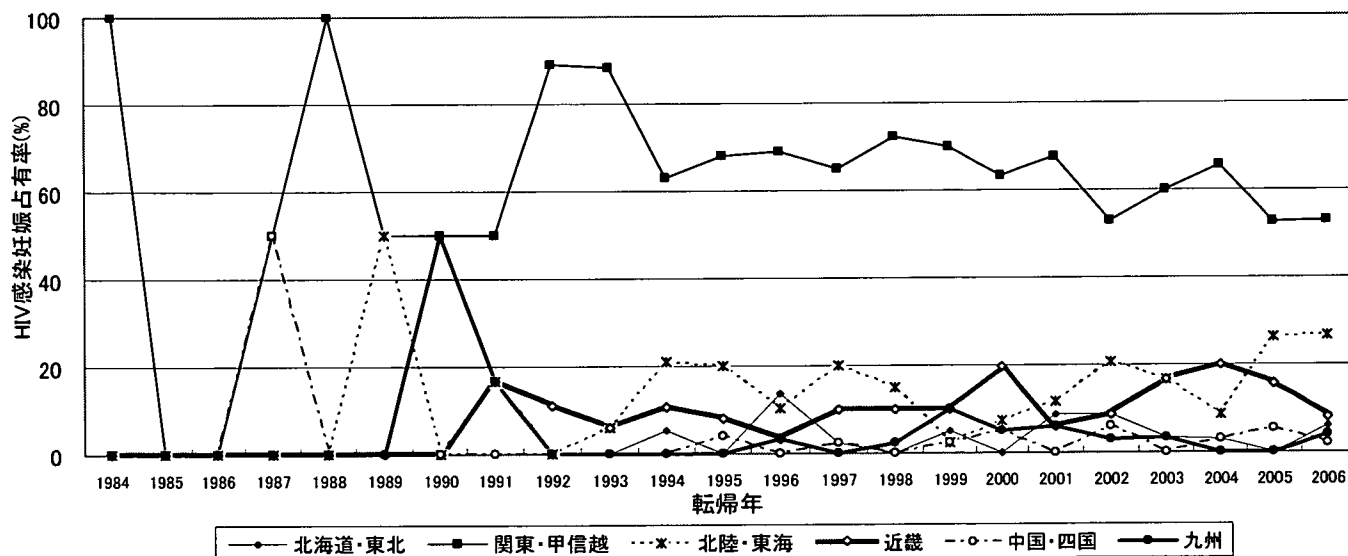


図 3 HIV 感染妊娠占有率のブロック別年次別変動
(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

表 2 HIV 感染妊婦の国籍別・年次別分布(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

地域	国籍	転帰年																							不明	総計	(%)	地域別						
		1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006				2007	小計	(%)				
東アジア	日本				2	1	2	2	2	2	2	3	5	6	13	11	13	18	18	12	15	10	15	17	24	1	1	193	38.4%	207	41.2%			
	中国											1					1	2	1		2	3	1				11	2.2%						
	韓国																				1		1		1			3	0.6%					
その他	タイ									1	3	10	8	8	13	16	20	13	14	9	3	10	6	8	6	1	1	149	29.6%	186	37.0%			
アジア	フィリピン																3		1	1	2	2	4		3	1	17	3.4%						
	ミャンマー									1							1											4	0.8%					
	ベトナム																								1	1		4	0.8%					
	カンボジア											1																	1			0.2%		
	インドネシア																								1	2			4			0.8%		
	インド																1												1			0.2%		
	マレーシア																												1			0.2%		
	ラオス																												1			0.2%		
	ロシア																												1			0.2%		
	ウクライナ																									1	1		2			0.4%		
	アフリカ	ケニア	1								2	1	1	1	1		2	1	1	2	1	2			1	1			18			3.6%	49	9.7%
		タンザニア																														10		
		ナイジェリア						1																						1	0.2%			
ウガンダ																													5	1.0%				
ザンビア																													5	1.0%				
エチオピア											1																		4	0.8%				
ガーナ																													2	0.4%				
ブルンジ																														1	0.2%			
ジンバブエ																														1	0.2%			
マラウイ																														1	0.2%			
ルワンダ																														1	0.2%			
中南米	ブラジル											2	1	2	1	1	4	2	1	4	5	4	2	2	4	6			41	8.2%	47	9.3%		
	ボリビア																												2	0.4%				
	ペルー																												2	0.4%				
	ホンジュラス																												1	0.2%				
アルゼンチン																													1	0.2%				
北米	アメリカ																												1	0.2%	1	0.2%		
	イギリス																												1	0.2%				
不明	不明																												12	2.4%	12	2.4%		
不明	不明																												12	2.4%				
総計		1	0	0	2	1	4	2	6	9	17	19	25	29	40	40	40	41	34	34	30	35	38	49	3	4	503	100.0%	503	100.0%				

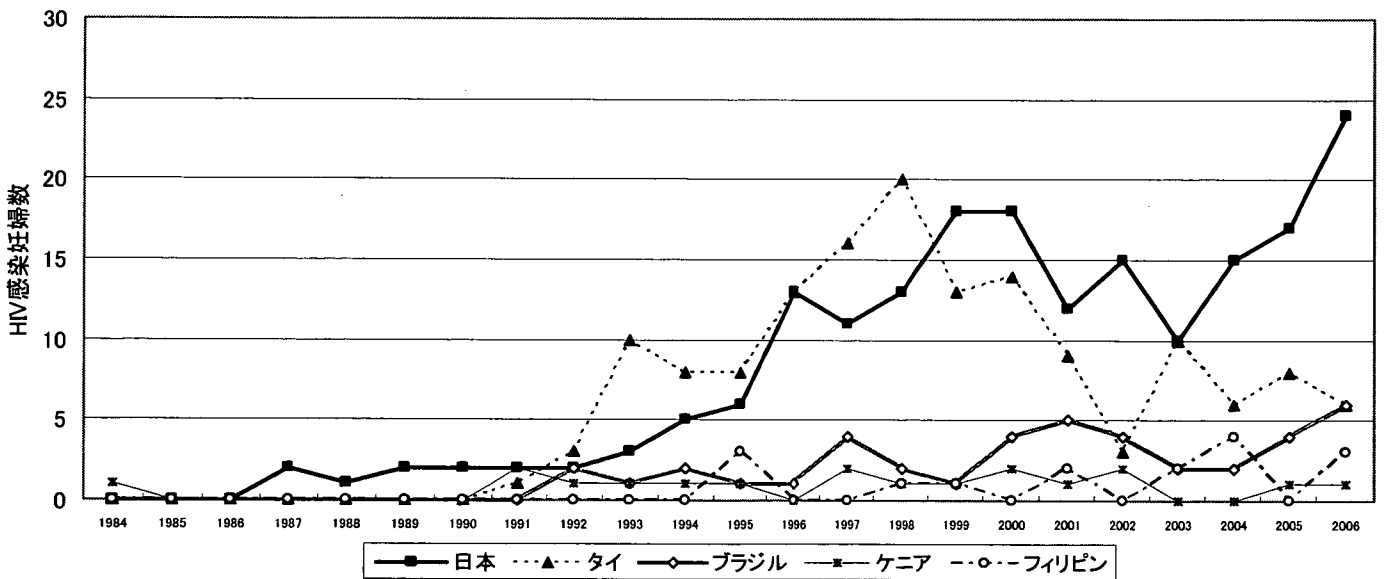


図 4 HIV 感染妊婦数の国籍上位 5 カ国の年次別変動(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

表 3 HIV 感染妊婦のパートナーの国籍別感染数(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

地域別	国籍	総計	%	国別				地域別			
				感染	非感染	不明	感染割合	感染	非感染	不明	感染割合
東アジア	日本	222	44.1%	50	117	55	29.9%	50	117	57	29.9%
	中国	1	0.2%			1					
	韓国	1	0.2%			1					
その他	タイ	17	3.4%	7	5	5	58.3%	14	8	8	63.6%
	アジア										
	インドネシア	4	0.8%	3		1	100.0%				
	マレーシア	2	0.4%	2			100.0%				
	イラン	2	0.4%		2		0.0%				
	ベトナム	1	0.2%			1					
	インド	1	0.2%	1			100.0%				
	パキスタン	1	0.2%		1		0.0%				
	バングラデシュ	1	0.2%	1			100.0%				
	フィリピン	1	0.2%			1					
アフリカ	ケニア	10	2.0%	8	2		80.0%	22	5	6	81.5%
	ガーナ	4	0.8%	2	1	1	66.7%				
	ナイジェリア	8	1.6%	5	2	1	71.4%				
	ウガンダ	3	0.6%	2		1	100.0%				
	タンザニア	2	0.4%	2			100.0%				
	ジンバブエ	2	0.4%	1		1	100.0%				
	エジプト	1	0.2%	1			100.0%				
	ザイール	1	0.2%	1			100.0%				
	セネガル	1	0.2%			1					
	マラウィ	1	0.2%			1					
北米	アメリカ	6	1.2%	2	3	1	40.0%	2	3	1	40.0%
中南米	ブラジル	30	6.0%	14	10	6	58.3%	16	10	12	61.5%
	ペルー	4	0.8%	1		3	100.0%				
	ボリビア	2	0.4%			2					
	メキシコ	1	0.2%			1					
	ドミニカ	1	0.2%	1			100.0%				
欧州	イタリア	1	0.2%			1		1	0	1	100.0%
	ベルギー	1	0.2%	1			100.0%				
	不明	170	33.8%	10	4	156	71.4%	10	4	156	71.4%
	総計	503	100.0%	115	147	241	43.9%	115	147	241	43.9%

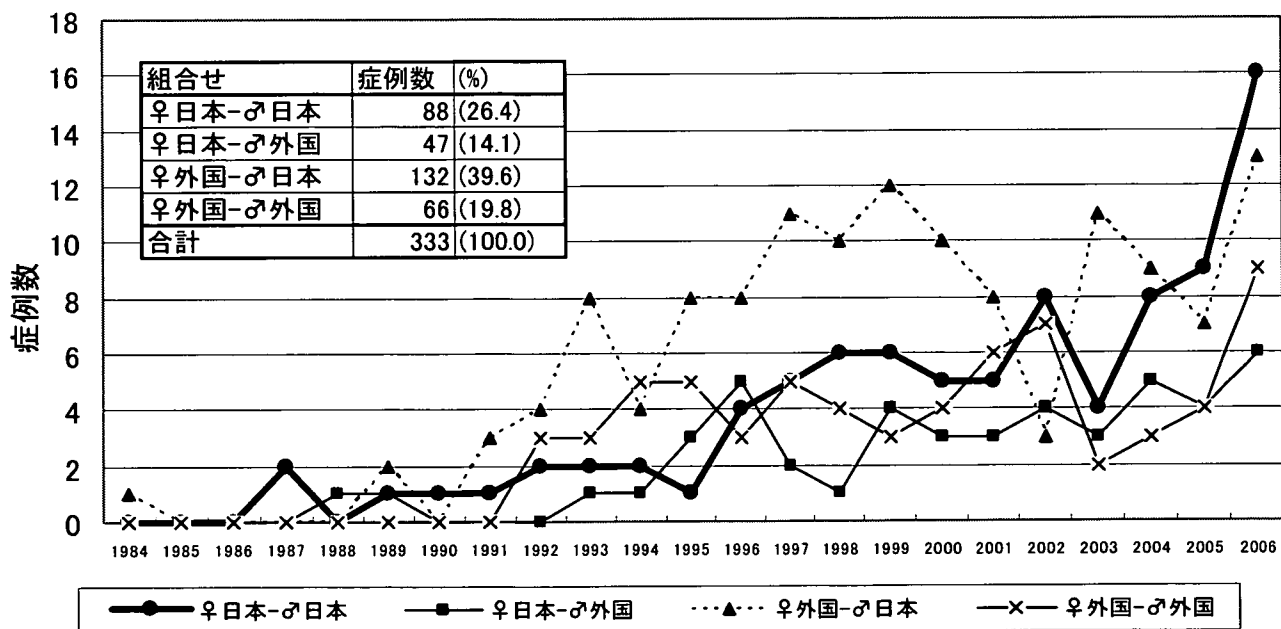


図 5 HIV 感染妊婦とパートナーの国籍の組み合わせ別、年次別変動
(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

表 4 HIV 感染妊娠の分娩様式別母子感染の有無(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

分娩様式	母子感染			中絶	妊娠中	分娩様式/ 転帰不明	総数	(%)
	感染	非感染	不明					
選択的帝王切	8	231	33				272	54.1%
緊急帝王切	4	19					23	4.6%
経膈	26	27	7				60	11.9%
中絶				103			103	20.5%
分娩様式/転帰不明	5					37	42	8.3%
妊娠中					3		3	0.6%
総計	43	277	40	103	3	37	503	100.0%

表 5 転帰場所別 HIV 感染妊娠報告数(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

転帰場所	症例数	%
拠点病院	366	72.8%
非拠点病院	59	11.7%
病院	47	
診療所	12	
自宅	1	0.2%
外国	35	7.0%
不明	42	8.3%
総計	503	100.0%

表 6 都道府県別、転帰場所別、転帰別 HIV 感染妊娠報告数(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

都道府県	転帰場所	総計	選択的 帝王切	緊急 帝王切	経陰	中絶	不明	妊娠中	
北海道	拠1	2	2						
	拠2	1	1						
	a	1			1				
青森	拠1	1	1						
岩手	拠1	1	1						
宮城	拠1	6	5			1			
秋田	拠1	1	1						
山形		0							
福島	拠1	2				2			
	拠2	2	2						
茨城	拠1	5	5						
	拠2	5	4	1					
	拠3	4	3			1			
	拠4	3	2			1			
	拠5	1	1						
	A	1						1	
栃木	拠1	4	4						
	拠2	4	2			1		1	
	拠3	3				3			
	拠4	1	1						
	拠5	1	1						
群馬	拠1	5	3	1		1			
	A	1				1			
埼玉	拠1	12	5	1		5		1	
	A	5	5						
	B	3				3			
	C	1	1						
	D	1	1						
千葉	拠1	19	10			2		7	
	拠2	7	3			1		3	
	拠3	4	3	1					
	拠4	2	2						
	拠5	2	1	1					
	拠6	1	1						
	A	6	4			2			
	B	5	3					2	
	C	1	1						
	D	1				1			
	E	1						1	
東京	拠1	35	18	2		3		12	
	拠2	33	17	2		3		11	
	拠3	4	4						
	拠4	4	3			1			
	拠5	4	2			1		1	
	拠6	2	2						
	拠7	2	2						
	拠8	1	1						
	拠9	1	1						
	拠10	1	1						
	拠11	1	1						
	拠12	1						1	
	拠13	1	1						
	拠14	1	1						
神奈川	拠1	16	13					3	
	拠2	7	5					2	
	拠3	6	5					1	
	拠4	1	1						
	拠5	1				1			
新潟	拠1	4	3					1	
	拠2	1	1						
	拠3	1	1						
	A	1				1			
	a	1						1	
山梨	拠1	4	2					2	
	A	1						1	
	長野	拠1	8	4				4	
	拠2	6	2			1		3	
	拠3	4	2			1		1	
	拠4	2	1					1	
	拠5	1	1						
	A	1						1	
	富山	a	1					1	
	石川		0						
	福井	拠1	1	1					
		拠2	1	1					
	岐阜	拠1	1	1					
		A	1						1
静岡	拠1	9	7	1				1	
	拠2	3	3						
	拠3	1	1						
	拠4	1	1						
	拠5	1	1						
	拠6	1	1						
	拠7	1	1						
愛知	拠1	36	22	3				11	
	拠2	1		1					
	拠3	1						1	
	A	1						1	
	B	1						1	
	C	1						1	
三重	拠1	4	4						
	拠2	2	1					1	
	A	1						1	
	京都	拠1	3	2				1	
大阪	拠1	13	12					1	
	拠2	9	7	2					
	拠3	3	3						
	拠4	1						1	
	拠5	1						1	
	A	1	1						
兵庫	拠1	2	2						
	拠2	1	1						
	奈良	拠1	3	1				2	
	和歌山		0						
	鳥取		0						
島根		0							
岡山		0							
広島	拠1	1	1						
	拠2	1	1						
	a	1	1						
山口	拠1	1	1						
徳島		0							
香川	拠1	1					1		
愛媛	拠1	2	2						
高知	拠1	1	1						
	拠2	4	3					1	
	拠3	1	1						
佐賀		0							
	長崎		0						
	熊本		0						
	大分		0						
	宮崎		0						
鹿児島	拠1	1	1						
	A	4	4						
沖縄	拠1	2				1		1	
	A	2						1	
自治		1						1	
外国		35	5	1		11		18	
不明		42	2			16		24	
総計		503	272	23	60	103	42	3	

※拠1~14: 拠点病院(ブロック拠点含む)、A~F: 非拠点病院(病院)、a~b: 非拠点病院(診療所)

表 7 都道府県別、エイズ拠点病院・非拠点病院別HIV感染妊娠報告症例数

(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

ブロック	都道府県	都道府県別				ブロック別										
		総数	拠点病院	割合	非拠点病院	割合	総数	拠点病院	割合	非拠点病院	割合					
北海道 ・東北	北海道	4	3	75%	1	25%	17	16	94%	1	6%					
	青森	1	1	100%	0	0%										
	岩手	1	1	100%	0	0%										
	宮城	6	6	100%	0	0%										
	秋田	1	1	100%	0	0%										
	山形	0	0	—	0	—										
	福島	4	4	100%	0	0%										
関東 ・甲信越	茨城	19	18	95%	1	5%	276	236	86%	40	14%					
	栃木	13	13	100%	0	0%										
	群馬	6	5	83%	1	17%										
	埼玉	25	12	48%	13	52%										
	千葉	51	35	69%	16	31%										
	東京	94	91	97%	3	3%										
	神奈川	35	31	89%	4	11%										
	新潟	6	6	100%	0	0%										
	山梨	5	4	80%	1	20%										
	長野	22	21	95%	1	5%										
北陸 ・東海	富山	1	0	0%	1	100%	68	62	91%	6	9%					
	石川	0	0	—	0	—										
	福井	2	2	100%	0	0%										
	岐阜	2	1	50%	1	50%										
	静岡	17	17	100%	0	0%										
	愛知	42	38	90%	4	10%										
	三重	4	4	100%	0	0%										
	滋賀	3	2	67%	1	33%										
京都	3	3	100%	0	0%											
近畿	大阪	31	27	87%	4	13%	43	38	88%	5	12%					
	兵庫	3	3	100%	0	0%										
	奈良	3	3	100%	0	0%										
	和歌山	0	0	—	0	—										
	島根	0	0	—	0	—										
	鳥取	0	0	—	0	—										
	岡山	0	0	—	0	—										
中国 ・四国	広島	3	2	67%	1	33%	8	7	88%	1	13%					
	山口	1	1	100%	0	0%										
	徳島	0	0	—	0	—										
	香川	1	1	100%	0	0%										
	愛媛	2	2	100%	0	0%										
	高知	1	1	100%	0	0%										
	福岡	6	6	100%	0	0%						13	7	54%	6	46%
	佐賀	0	0	—	0	—										
	長崎	0	0	—	0	—										
	熊本	0	0	—	0	—										
大分	0	0	—	0	—											
宮崎	0	0	—	0	—											
鹿児島	5	1	20%	4	80%											
沖縄	2	0	0%	2	100%											
総計		425	366	86%	59	14%	425	366	86%	59	14%					

当班へのHIV感染妊娠報告症例数が10例以上の都道府県

※「—」はHIV感染妊娠報告なしの都道府県

表 8 都道府県別、エイズ拠点病院・非拠点病院におけるHIV感染妊娠診療施設数

(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

ブロック	都道府県	都道府県別				ブロック別					
		総数	拠点病院	割合	非拠点病院	割合	総数	拠点病院	割合	非拠点病院	割合
北海道 ・東北	北海道	3	2	67%	1	33%	9	8	89%	1	11%
	青森	1	1	100%	0	0%					
	岩手	1	1	100%	0	0%					
	宮城	1	1	100%	0	0%					
	秋田	1	1	100%	0	0%					
	山形	0	0	—	0	—					
	福島	2	2	100%	0	0%					
関東 ・甲信越	茨城	6	5	83%	1	17%	69	46	67%	23	33%
	栃木	5	5	100%	0	0%					
	群馬	2	1	50%	1	50%					
	埼玉	6	1	17%	5	83%					
	千葉	13	6	46%	7	54%					
	東京	17	14	82%	3	18%					
	神奈川	9	5	56%	4	44%					
	新潟	3	3	100%	0	0%					
	山梨	2	1	50%	1	50%					
	長野	6	5	83%	1	17%					
	北陸 ・東海	富山	1	0	0%	1					
石川		0	0	—	0	—					
福井		2	2	100%	0	0%					
岐阜		2	1	50%	1	50%					
静岡		7	7	100%	0	0%					
愛知		7	3	43%	4	57%					
三重		1	1	100%	0	0%					
近畿	滋賀	2	1	50%	1	50%	15	10	67%	5	33%
	京都	1	1	100%	0	0%					
	大阪	9	5	56%	4	44%					
	兵庫	2	2	100%	0	0%					
	奈良	1	1	100%	0	0%					
	和歌山	0	0	—	0	—					
	中国 ・四国	島根	0	0	—	0					
鳥取	0	0	—	0	—						
岡山	0	0	—	0	—						
広島	3	2	67%	1	33%						
山口	1	1	100%	0	0%						
徳島	0	0	—	0	—						
香川	1	1	100%	0	0%						
愛媛	1	1	100%	0	0%						
高知	1	1	100%	0	0%						
九州 ・沖縄	福岡	3	3	100%	0	0%	6	4	67%	2	33%
	佐賀	0	0	—	0	—					
	長崎	0	0	—	0	—					
	熊本	0	0	—	0	—					
	大分	0	0	—	0	—					
	宮崎	0	0	—	0	—					
	鹿児島	2	1	50%	1	50%					
	沖縄	1	0	0%	1	100%					
総計		126	88	70%	38	30%	126	88	70%	38	30%

当班へのHIV感染妊娠報告症例数が10例以上の都道府県

※「—」はHIV感染妊娠報告なしの都道府県

表 9 都道府県別、エイズ拠点病院における感染妊娠の実診療施設数

(平成 19 年度産婦人科小児科統合データベース)

ブロック	都道府県	都道府県別			ブロック別		
		拠点病院数	実診療病院数	割合*	拠点病院数	実診療病院数	割合
北海道 ・東北	北海道	11	2	18%	51	8	16%
	青森	4	1	25%			
	岩手	4	1	25%			
	宮城	7	1	14%			
	秋田	3	1	33%			
	山形	8	0	—			
	福島	14	2	14%			
関東 ・甲信越	茨城	9	5	56%	118	46	39%
	栃木	10	5	50%			
	群馬	4	1	25%			
	埼玉	6	1	17%			
	千葉	7	6	86%			
	東京	43	14	33%			
	神奈川	16	5	31%			
	新潟	6	3	50%			
	山梨	9	1	11%			
	長野	8	5	63%			
北陸 ・東海	富山	2	0	0%	58	14	24%
	石川	7	0	—			
	福井	4	2	50%			
	岐阜	7	1	14%			
	静岡	20	7	35%			
	愛知	14	3	21%			
	三重	4	1	25%			
近畿	滋賀	2	1	50%	43	10	23%
	京都	10	1	10%			
	大阪	16	5	31%			
	兵庫	12	2	17%			
	奈良	1	1	100%			
	和歌山	2	0	—			
中国 ・四国	島根	2	0	—	61	6	10%
	鳥取	5	0	—			
	岡山	10	0	—			
	広島	5	2	40%			
	山口	5	1	20%			
	徳島	2	0	—			
	香川	6	1	17%			
	愛媛	20	1	5%			
	高知	6	1	17%			
九州 ・沖縄	福岡	7	3	43%	31	4	13%
	佐賀	2	0	—			
	長崎	3	0	—			
	熊本	3	0	—			
	大分	5	0	—			
	宮崎	3	0	—			
	鹿児島	5	1	20%			
	沖縄	3	0	0%			
	総計	362	88	24%	362	88	24%

当班へのHIV感染妊娠報告症例数が10例以上の都道府県

※「—」はHIV感染妊娠報告なしの都道府県

表 10 平成 19 年度診療所一次調査回答率

都道府県	送付数	回収数	回収率	産院廃止等	有効送付数	回答数	回答率
合計	5,842	2,589	44.3%	85	5,757	2,504	43.5%

表 11 平成 19 年度診療所一次調査都道府県別症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	福島	1	14.3%	1	14.3%
関東・甲信越	東京	2	28.6%	3	42.9%
	神奈川	1	14.3%		
東海・北陸	三重	1	14.3%	1	14.3%
近畿	大阪	1	14.3%	1	14.3%
九州	熊本	1	14.3%	1	14.3%
合計		7	100.0%	7	100.0%

表 12 平成 19 年度診療所二次調査結果

	選択の帝切	緊急帝切	経腔	不明	妊娠中	中絶	合計
新規	0	0	0	0	0	0	0
未報告	0	0	0	0	0	1	1
既報告	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	1	1

表 13 平成 19 年度病院一次調査都道府県別調査回答率

都道府県	送付数	回収数	回収率	廃止等	有効送付数	回答数	回答率	再送付数	再送付回収数	再送付回収率	廃止等	再送付回答数	最終有効送付数	最終回収数	最終回答数	最終回答率
北海道	85	42	49.4%	1	84	41	48.8%	43	17	39.5%	2	15	82	59	56	68.3%
青森	19	9	47.4%	1	18	8	44.4%	10	4	40.0%	0	4	18	13	12	66.7%
岩手	22	11	50.0%	1	21	10	47.6%	11	7	63.6%	1	6	20	18	16	80.0%
宮城	29	13	44.8%	0	29	13	44.8%	16	6	37.5%	1	5	28	19	18	64.3%
秋田	19	11	57.9%	0	19	11	57.9%	8	2	25.0%	0	2	19	13	13	68.4%
山形	26	15	57.7%	0	26	15	57.7%	11	2	18.2%	0	2	26	17	17	65.4%
福島	33	16	48.5%	1	32	15	46.9%	17	4	23.5%	0	4	32	20	19	59.4%
茨城	31	16	51.6%	0	31	16	51.6%	15	7	46.7%	0	7	31	23	23	74.2%
栃木	18	11	61.1%	0	18	11	61.1%	7	1	14.3%	0	1	18	12	12	66.7%
群馬	22	12	54.5%	0	22	12	54.5%	10	4	40.0%	0	4	22	16	16	72.7%
埼玉	51	26	51.0%	0	51	26	51.0%	25	9	36.0%	0	9	51	35	35	68.6%
千葉	45	23	51.1%	0	45	23	51.1%	22	10	45.5%	0	10	45	33	33	73.3%
東京	124	65	52.4%	0	124	65	52.4%	59	16	27.1%	1	15	123	81	80	65.0%
神奈川	81	37	45.7%	2	79	35	44.3%	44	18	40.9%	1	17	78	55	52	66.7%
新潟	41	25	61.0%	1	40	24	60.0%	16	8	50.0%	0	8	40	33	32	80.0%
山梨	14	7	50.0%	0	14	7	50.0%	7	3	42.9%	0	3	14	10	10	71.4%
長野	34	21	61.8%	0	34	21	61.8%	13	4	30.8%	0	4	34	25	25	73.5%
富山	22	13	59.1%	0	22	13	59.1%	9	1	11.1%	0	1	22	14	14	63.6%
石川	26	14	53.8%	0	26	14	53.8%	12	7	58.3%	0	7	26	21	21	80.8%
福井	16	7	43.8%	0	16	7	43.8%	9	3	33.3%	0	3	16	10	10	62.5%
岐阜	29	14	48.3%	0	29	14	48.3%	15	4	26.7%	0	4	29	18	18	62.1%
静岡	32	15	46.9%	0	32	15	46.9%	17	7	41.2%	0	7	32	22	22	68.8%
愛知	81	41	50.6%	0	81	41	50.6%	40	10	25.0%	0	10	81	51	51	63.0%
三重	23	16	69.6%	0	23	16	69.6%	7	0	0.0%	0	0	23	16	16	69.6%
滋賀	17	4	23.5%	0	17	4	23.5%	13	4	30.8%	0	4	17	8	8	47.1%
京都	43	25	58.1%	0	43	25	58.1%	18	9	50.0%	0	9	43	34	34	79.1%
大阪	93	51	54.8%	0	93	51	54.8%	42	15	35.7%	1	14	92	66	65	70.7%
兵庫	63	35	55.6%	0	63	35	55.6%	28	9	32.1%	1	8	62	44	43	69.4%
奈良	16	10	62.5%	0	16	10	62.5%	6	1	16.7%	0	1	16	11	11	68.8%
和歌山	15	10	66.7%	0	15	10	66.7%	5	1	20.0%	0	1	15	11	11	73.3%
鳥取	10	5	50.0%	1	9	4	44.4%	5	2	40.0%	0	2	9	7	6	66.7%
島根	18	13	72.2%	0	18	13	72.2%	5	4	80.0%	0	4	18	17	17	94.4%
岡山	29	18	62.1%	0	29	18	62.1%	11	4	36.4%	0	4	29	22	22	75.9%
広島	41	25	61.0%	0	41	25	61.0%	16	5	31.3%	0	5	41	30	30	73.2%
山口	24	16	66.7%	0	24	16	66.7%	8	4	50.0%	0	4	24	20	20	83.3%
徳島	13	6	46.2%	0	13	6	46.2%	7	3	42.9%	0	3	13	9	9	69.2%
香川	21	13	61.9%	0	21	13	61.9%	8	2	25.0%	0	2	21	15	15	71.4%
愛媛	19	7	36.8%	0	19	7	36.8%	12	7	58.3%	0	7	19	14	14	73.7%
高知	12	9	75.0%	0	12	9	75.0%	3	0	0.0%	0	0	12	9	9	75.0%
福岡	43	26	60.5%	0	43	26	60.5%	17	6	35.3%	1	5	42	32	31	73.8%
佐賀	9	5	55.6%	0	9	5	55.6%	4	2	50.0%	0	2	9	7	7	77.8%
長崎	22	14	63.6%	0	22	14	63.6%	8	2	25.0%	0	2	22	16	16	72.7%
熊本	23	11	47.8%	0	23	11	47.8%	12	4	33.3%	0	4	23	15	15	65.2%
大分	16	7	43.8%	0	16	7	43.8%	9	4	44.4%	1	3	15	11	10	66.7%
宮崎	14	11	78.6%	0	14	11	78.6%	3	0	0.0%	0	0	14	11	11	78.6%
鹿児島	28	13	46.4%	0	28	13	46.4%	15	7	46.7%	0	7	28	20	20	71.4%
沖縄	22	9	40.9%	0	22	9	40.9%	13	7	53.8%	1	6	21	16	15	71.4%
全国	1,534	823	53.7%	8	1,526	815	53.4%	711	256	36.0%	11	245	1,515	1,079	1,060	70.0%

表 14 平成 19 年度病院一次調査都道府県別新規症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	岩手	1	2.3%	3	6.8%
	福島	2	4.5%		
関東・甲信越	茨城	1	2.3%	26	59.1%
	栃木	6	13.6%		
	千葉	3	6.8%		
	東京	12	27.3%		
	神奈川	3	6.8%		
	長野	1	2.3%		
東海・北陸	静岡	3	6.8%	12	27.3%
	愛知	8	18.2%		
	三重	1	2.3%		
近畿	大阪	1	2.3%	2	4.5%
	奈良	1	2.3%		
九州	沖縄	1	2.3%	1	2.3%
全国		44	100.0%	44	100.0%

表 15 平成 19 年度病院一次調査都道府県別既調査未報告症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合
北海道・東北	福島	2	18.2%	2	18.2%
関東・甲信越	埼玉	3	27.3%	6	54.5%
	東京	2	18.2%		
	神奈川	1	9.1%		
東海・北陸	石川	1	9.1%	2	18.2%
	静岡	1	9.1%		
近畿	京都	1	9.1%	1	9.1%
合計		11	100.0%	11	100.0%

表 16 病院調査都道府県別累積症例数

ブロック	都道府県	症例数	構成割合	ブロック別症例数	ブロック別構成割合		
北海道・東北	北海道	8	1.4%	31	5.0%		
	青森	2	0.4%				
	岩手	3	0.5%				
	宮城	7	1.2%				
	秋田	3	0.5%				
	山形	0	0.0%				
	福島	8	1.4%				
	関東・甲信越	茨城	35			6.2%	405
栃木	26	4.6%					
群馬	10	1.8%					
埼玉	44	7.8%					
千葉	66	11.6%					
東京	136	24.0%					
神奈川	50	8.8%					
新潟	6	1.1%					
山梨	7	1.2%					
長野	25	4.4%					
東海・北陸	富山	0	0.0%	93	15.0%		
	石川	3	0.5%				
	福井	6	1.1%				
	岐阜	3	0.5%				
	静岡	26	4.6%				
	愛知	48	8.5%				
	三重	7	1.2%				
	近畿	滋賀	7			1.2%	61
京都	12	2.1%					
大阪	31	5.5%					
兵庫	5	0.9%					
奈良	6	1.1%					
和歌山	0	0.0%					
中国・四国	鳥取	0	0.0%	14	2.3%		
島根	0	0.0%					
岡山	0	0.0%					
広島	4	0.7%					
山口	2	0.4%					
徳島	0	0.0%					
香川	3	0.5%					
愛媛	4	0.7%					
高知	1	0.2%					
九州	福岡	6	1.1%			18	2.9%
	佐賀	0	0.0%				
	長崎	1	0.2%				
	熊本	0	0.0%				
	大分	0	0.0%				
	宮崎	0	0.0%				
	鹿児島	9	1.6%				
	沖縄	2	0.4%				
合計		622	100.0%	622	100.0%		

表 17 平成 19 年度病院二次調査結果

	選択的帝切	緊急帝切	経産	妊娠中	中絶	分娩様式/転帰不明	総計
新規	18	2		4	3	7	34
未報告	4		5		2	2	13
既報告	7				3		10
総計	29	2	5	4	8	9	57

表 18 平成 19 年度病院二次調査妊娠転帰別、母子感染の有無別症例数

区分	分娩様式	母子感染			妊娠中	中絶	分娩様式/ 転帰不明	合計	区分計
		感染	非感染	不明					
新規	選択的帝切		11	7				18	34
	緊急帝切			2				2	
	経産							0	
	中絶					3		3	
	妊娠中				4			4	
	分娩様式/転帰不明						7	7	
未報告	選択的帝切		3	1				4	13
	緊急帝切							0	
	経産	2	1	2				5	
	中絶					2		2	
	分娩様式/転帰不明		1				1	2	
	既報告	選択的帝切		5	2				
緊急帝切							0		
経産							0		
中絶					3		3		
分娩様式/転帰不明							0		
合計		2	21	14	4	8	8	57	57

表 19 産婦人科データベース妊娠転帰別、母子感染の有無別症例数

分娩様式	母子感染			妊娠中	中絶	分娩様式/ 転帰不明	総計	(%)
	感染	非感染	不明					
選択的帝切	1	218	37				256	49.3%
緊急帝切	1	16	3				20	3.9%
経産	14	22	7				43	8.3%
中絶					114		114	22.0%
妊娠中				4			4	0.8%
分娩様式/転帰不明		1				81	82	15.8%
総計	16	257	47	4	114	81	519	100.0%

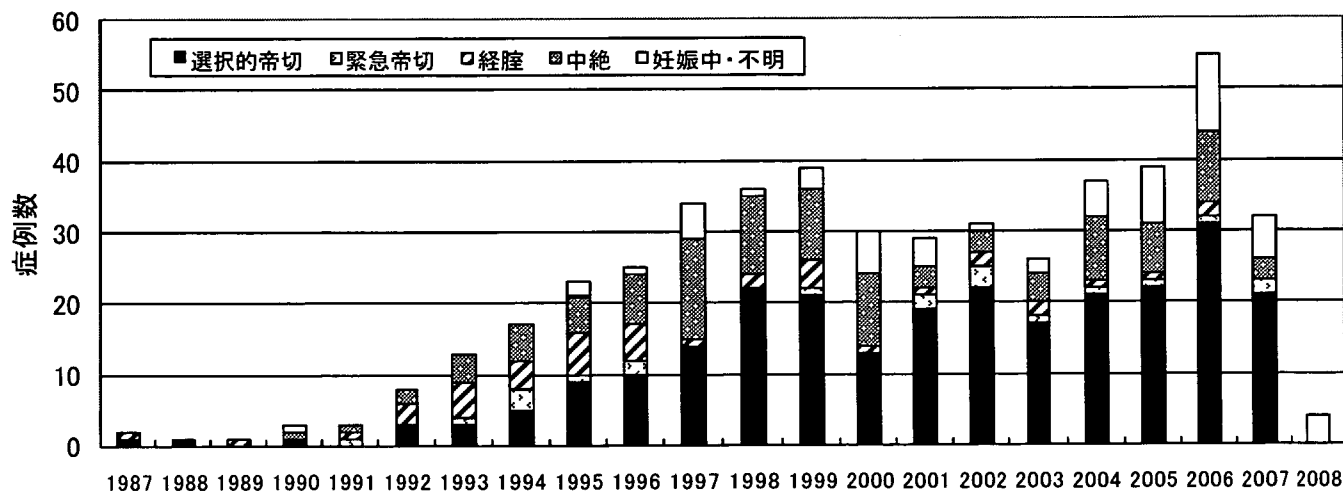


図 6 HIV 感染妊娠の妊娠転帰別・年次別変動(産婦人科データベース)

表 20 2007 年妊娠転帰例の報告都道府県別症例数

ブロック	都道府県	症例数	(%)	ブロック別	(%)
関東・甲信越	茨城	1	3.1%	20	62.5%
	栃木	4	12.5%		
	埼玉	1	3.1%		
	千葉	1	3.1%		
	東京	10	31.3%		
	神奈川	2	6.3%		
	長野	1	3.1%		
東海・北陸	静岡	1	3.1%	9	28.1%
	愛知	7	21.9%		
	三重	1	3.1%		
近畿	大阪	1	3.1%	2	6.3%
	奈良	1	3.1%		
九州・沖縄	沖縄	1	3.1%	1	3.1%
全国		32	100.0%	32	100.0%

表 21 2007 年妊娠転帰例の国籍別症例数

地域	国籍	症例数	(%)	地域別	(%)
東アジア	日本	15	46.9%	17	53.1%
	中国	1	3.1%		
	韓国	1	3.1%		
その他	タイ	4	12.5%	8	25.0%
	アジア フィリピン	1	3.1%		
	ベトナム	1	3.1%		
	インドネシア	2	6.3%		
中南米	ブラジル	4	12.5%	5	15.6%
	ペルー	1	3.1%		
不明		2	6.3%	2	6.3%
合計		32	100.0%	32	100.0%

表 22 2007 年妊娠転帰例の分娩様式別母子感染有無別症例数

分娩様式	母子感染			中絶	分娩様式/ 転帰不明	総計	(%)
	感染	非感染	不明				
選択的帝切		13	8			21	65.6%
緊急帝切			2			2	6.3%
経膈						0	0.0%
中絶				3		3	9.4%
分娩様式/転帰不明					6	6	18.8%
合計	0	13	10	3	6	32	100.0%

表 23 2007 年妊娠転帰例の抗ウイルス薬のレジメン別症例数

薬剤数	レジメン	症例数	(%)
3剤以上	AZT+3TC+NFV	12	37.5%
	AZT+3TC+LPV/RTV	8	25.0%
	d4T+3TC+LPV/RTV	1	3.1%
	TDF+ddi+LPV/RTV	1	3.1%
	AZT+3TC/ABC+EFV	1	3.1%
	AZT+3TC+NFV→AZT+3TC+LPV/RTV	2	6.3%
	AZT+3TC+NVP→AZT+3TC+LPV/RTV	1	3.1%
	d4T+3TC+ATV→AZT+3TC+LPV/RTV	1	3.1%
	投薬について記載なし	5	15.6%
	合計		32

表 24 2007 年妊娠転帰例の医療保険加入状況別症例数

医療保険	症例数	(%)
国保加入	18	56.3%
社保加入	9	28.1%
生保加入	0	0.0%
保険加入なし	1	3.1%
不明	4	12.5%
総計	32	100.0%

表 25 2007 年以前妊娠転帰例の医療保険加入状況別症例数

医療保険	症例数	(%)
国保加入	13	3.0%
社保加入	4	7.5%
生保加入	1	1.9%
保険加入なし	15	28.3%
不明	20	37.7%
総計	53	100.0%

(N=53 :平成 19 年度病院調査 57 例+診療所調査 1 例+三次調査 31 例-2007、2008 年妊娠転帰 35 例=53 例)

表 26 2007 年妊娠転帰例のパートナーとの婚姻関係別症例数

正式な婚姻関係	症例数	(%)
あり	23	71.9%
なし	4	12.5%
不明	5	15.6%
総計	32	100.0%

表 27 2007 年以前妊娠転帰例のパートナーとの婚姻関係別症例数

正式な婚姻関係	症例数	(%)
あり	17	32.1%
なし	13	24.5%
不明	23	43.4%
総計	53	100.0%

(N=53 :平成 19 年度病院調査 57 例+診療所調査 1 例+三次調査 31 例-2007、2008 年妊娠転帰 35 例=53 例)

表 28 HIV 感染妊娠例の年次別妊娠転帰と母子感染の有無(産婦人科データベース)

発生年	妊娠数	分娩数 (%)	選択的帯切		緊急帯切		経膈		妊娠中・不明	中絶
			総数 (%)	非感染 感染 (%)	総数 (%)	非感染 感染 (%)	総数 (%)	非感染 感染 (%)		
1987	2	2 (100.0)	1 (50.0)	1						
1988	1	1 (100.0)	1 (100.0)	1						
1989	1	1 (100.0)					1 (100.0)	1		
1990	3	1 (33.3)	1 (100.0)	1					1 (33.3)	1 (33.3)
1991	3	2 (66.7)			1 (50.0)		1 (50.0)	1		1 (33.3)
1992	8	6 (75.0)	3 (50.0)	3			3 (50.0)	1 2 (66.7)		2 (25.0)
1993	13	9 (69.2)	3 (33.3)	3	1 (11.1)	1	5 (55.6)	1 3 (75.0)		4 (30.8)
1994	17	12 (70.6)	5 (41.7)	5	3 (25.0)	2 1 (33.3)	4 (33.3)	2 2 (50.0)		5 (29.4)
1995	23	16 (69.6)	9 (56.3)	8	1 (6.3)	1	6 (37.5)	2 4 (66.7)		5 (21.7)
1996	25	17 (68.0)	10 (58.8)	10	2 (11.8)	2	5 (29.4)	4 1 (20.0)	2 (8.7)	7 (28.0)
1997	34	15 (44.1)	14 (93.3)	13			1 (6.7)	1	5 (14.7)	14 (41.2)
1998	36	24 (66.7)	22 (91.7)	17			2 (8.3)	2	1 (2.8)	11 (30.6)
1999	39	26 (66.7)	21 (80.8)	20	1 (3.8)	1	4 (15.4)		3 (7.7)	10 (25.6)
2000	30	14 (46.7)	13 (92.9)	11			1 (7.1)	1 (100.0)	6 (20.0)	10 (33.3)
2001	29	22 (75.9)	19 (86.4)	18	2 (9.1)	2	1 (4.5)	1	4 (13.8)	3 (10.3)
2002	31	27 (87.1)	22 (81.5)	17	3 (11.1)	3	2 (7.4)	2	1 (3.2)	3 (9.7)
2003	26	20 (76.9)	17 (85.0)	15	1 (5.0)	1	2 (10.0)	2	2 (7.7)	4 (15.4)
2004	37	23 (62.2)	21 (91.3)	18	1 (4.3)	1	1 (4.3)	1	5 (13.5)	9 (24.3)
2005	39	24 (61.5)	22 (91.7)	21	1 (4.2)	1	1 (4.2)		8 (20.5)	7 (17.9)
2006	55	34 (61.8)	31 (91.2)	23	1 (2.9)	1	2 (5.9)	1 1 (50.0)	11 (20.0)	10 (18.2)
2007	32	23 (71.9)	21 (91.3)	13	2 (8.7)				6 (18.8)	3 (9.4)
2008	4	0 (0.0)							4	
不明	31	0 (0.0)							26 (83.9)	5 (16)
総計	519	319 (61.5)	256 (80.3)	218 1 (0.5)	20 (6.3)	16 1 (5.9)	43 (13.5)	22 14 (38.9)	86 (16.6)	114 (22.0)

表 29 分娩様式別母子感染率(産婦人科データベース)

分娩様式	非感染	感染	感染率
選択的帝切	218	1	0.46%
緊急帝切	16	1	5.88%
経膣	22	6 ※ (14)	21.43%
合計	256	8 (16)	3.03%

※児の異常による受診を契機に母親の HIV 感染と母子感染が判明した8例を除く。

表 30 年次別抗ウイルス薬のレジメン別症例数(産婦人科データベース)

薬剤数	レジメン	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	不明	合計	(%)	
1剤	AZT						1	1	3	4	6	12	15	11	5	7	6	2	1	2	1				77	14.8%	
	小計	0	0	0	0	0	1	1	3	4	6	12	15	11	5	7	6	2	1	2	1	0	0	0	77	14.8%	
2剤	AZT+3TC									1			1	2												4	0.8%
	その他(1種類)										1															1	0.2%
	小計		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1.0%
3剤以上	AZT+3TC+NFV									1			2	2	5	7	7	5	13	10	20	12	1			85	16.4%
	AZT+3TC+LPV/RTV																1	3	1	3	5	8				21	4.0%
	d4T+3TC+NFV															2		1	3	3	2					11	2.1%
	その他(29種類)											1			1	3	3	5	2	2	5	9	4			35	6.7%
	小計		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	5	8	10	14	13	19	20	34	24	1	0	152	29.3%	
レジメン変更(全て3剤以上へ)															1	1	3	1	2	2	4	2	3			19	3.7%
投与について記載なし		2	1	1	3	3	7	12	14	17	17	22	18	20	16	9	10	9	15	13	18	5	3	31	266	51.3%	
合計		2	1	1	3	3	8	13	17	23	25	34	36	39	30	29	31	26	37	39	55	32	4	31	519	100.0%	

表 31 抗ウイルス薬による血中ウイルス量の変化別症例数(%)(産婦人科データベース)

薬剤数	1/100以下へ減少	1/10以下へ減少	やや減少	感度未滿維持	増加	総計
単剤	0 (0.0)	5 (16.1)	16 (51.6)	4 (12.9)	6 (19.4)	31 (100.0)
2剤	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)
3剤以上	46 (41.4)	33 (29.7)	9 (8.1)	21 (18.9)	2 (1.8)	111 (100.0)
レジメン変更	7 (38.9)	3 (16.7)	1 (5.6)	6 (33.3)	1 (5.6)	18 (100.0)
合計	53 (32.9)	41 (25.5)	27 (16.8)	31 (19.3)	9 (5.6)	161 (100.0)

表 32 分娩様式別・母子感染の有無別、抗ウイルス薬の投与状況別症例数(産婦人科データベース)

分娩様式	母子感染	総数	投与なし ・不明	投与あり				小計	投与率
				AZT	2剤併用	3剤以上	レジメン変更		
選択的帝切	非感染	218	42	58	2	100	16	176	80.7%
	感染	1		1				1	100.0%
	不明	37	6	5		25	1	31	83.8%
	小計	256	48	64	2	125	17	208	81.3%
緊急帝切	非感染	16	7	1	1	5	2	9	56.3%
	感染	1	1					0	0.0%
	不明	3	1			1	1	2	66.7%
	小計	20	9	1	1	6	3	11	55.0%
経膣	非感染	22	18	1		3		4	18.2%
	感染	14	14					0	0.0%
	不明	7	6	1				1	14.3%
	小計	43	38	2	0	3	0	5	11.6%
合計		319	95	67	3	134	20	224	70.2%

表 33 血中のウイルス量最高値別症例数(産婦人科データベース)

ウイルス量(コピー/ml)	症例数	(%)
100,000以上	22	7.9%
10,000以上100,000未滿	84	30.0%
1,000以上10,000未滿	84	30.0%
感度以上1,000未滿	17	6.1%
感度未滿	73	26.1%
合計	280	100.0%

表 34 母子感染対策未施行例への追跡調査(三次調査)に対する回答症例数

	緊急帝王切	経膣	総計
症例数	11	19	30

表 35 三次調査の緊急帝王切分娩 11 例の詳細

妊婦総合 症例番号	国籍	感染診断時期	分娩年	母子感染	在胎週数	緊急帝王切へ至った理由	陣痛	妊婦中 CD4	妊婦中ウイルス量 (コピ-/ml)	妊婦中の 抗ウイルス薬投与	妊婦中の 管理
36	タイ	今回妊娠時 (38w1d 分娩前日)	1993	非感染	38w2d	陣痛発来	自然陣痛	38w: 642		投与なし	×
45	タイ	今回妊娠時 (39w1d 分娩日)	1994	非感染	39w1d	飛び込み分娩 (陣痛発来にて来院 →即帝王切)	自然陣痛	P-6d: 158		投与なし	×
51	エチオピア	今回妊娠時 (25w)	1994	非感染	34w3d	羊水過小、胎児切迫仮死、 IUGRにて	陣痛なし	P-17d: 326		投与なし	?
74	ベトナム	今回妊娠時 (36w)	1995	非感染	36w	陣痛発来	自然陣痛	36w: 237		投与なし	
106	日本	今回妊娠時 (20w)	1996	非感染	34w	出血したため (ケニアにて分娩)	不明	20w: 266		投与なし	
299	タイ	今回妊娠時	2001	非感染	36w6d	陣痛発来にて 近医より母体搬送	自然陣痛	36w: 267	36w: 79000	投与なし	?
314	日本	前回妊娠時 (1996)	2002	非感染	35w6d	?				10w~ d4T+ddI-EC+NFV	○
364	日本	妊娠前	2003	非感染	35w0d	?		妊娠前: 597 7w: 357 33w: 425	妊娠前: <50 7w: <50 33w: <50	妊娠前~ d4T+3TC+RTV+SQV	○
389	アルゼンチン	今回妊娠時	2004	非感染	37w2d	帝切予定日前に 陣痛発来	自然陣痛	32w: 312	32w: 3800 35w: 110	32w~37w AZT+3TC+NFV	○
453	タイ	前回妊娠時 (2004)	2005	非感染	31w2d	胎児仮死、IUGR、 腎炎悪化	陣痛なし	26w: 313 30w: 305	26w: <50 30w: <50	20w~ d4t+3TC+NPV	○
491	日本	今回妊娠時 (10w)	2006	非感染	34w2d	陣痛発来	自然陣痛	12w: 366 16w: 312 22w: 518 29w: 553	12w: 8400 16w: 7800 22w: 130 29w: <50	18w~34w AZT+3TC+NFV	○

表 36 三次調査の経膣分娩 19 例の詳細

妊婦総合 症例番号	妊婦国籍	感染診断時期	分娩年	母子感染	在胎週数	経膣分娩に至っ た理由	陣痛	破水後時間	妊婦中 CD4	妊婦中ウイルス量 (コピ-/ml)	妊婦中の抗ウイルス薬 投与について	妊婦中の 管理
136	日本	今回妊娠時	1987	不明	36w	?	自然陣痛	人工破水 17m			投与なし	?
6	エチオピア	今回妊娠時 (分娩後に判明)	1989	非感染	36w5d	分娩後にHIV判明	自然陣痛				投与なし	×
21	日本	その他機会 (児の判明を機に)	1992	感染	40w2d	分娩後にHIV判明		27m			投与なし	×
30	タイ	今回妊娠時 (飛び込み分娩時)	1993	感染	36w(推定)	飛び込み分娩	自然陣痛	人工破水 23m			投与なし	×
47	タイ	今回妊娠時	1994	不明	39w6d	飛び込み分娩	自然陣痛	陣痛前破水 30h	39w: 680		投与なし	×
69	タイ	前回妊娠時	1995	非感染	39w5d	飛び込み分娩	自然陣痛	陣痛前破水 3h	39w: 453		投与なし	×
75	タイ	今回妊娠時	1995	感染	37w6d	飛び込み分娩	自然陣痛	人工破水 39m			投与なし	×
79	タイ	今回妊娠時 (飛び込み分娩時)	1995	非感染	40w1d	飛び込み分娩	自然陣痛	3h29m			投与なし	×
92	日本	今回妊娠時 (飛び込み分娩時)	1996	非感染	38w6d	飛び込み分娩	自然陣痛	陣痛後破水 15m	P-4d: 396	P-4d: <10000	投与なし	×
96	タイ	今回妊娠時 (14w)	1996	非感染	39w	?	自然陣痛	陣痛前破水 28h	37w: 388		投与なし	?
105	タイ	今回妊娠時 (前々回妊娠時)	1996	非感染	41w	飛び込み分娩	自然陣痛	陣痛前破水 11h	40w: 113		投与なし	×
8	タイ	前回妊娠時 (1995)	1999	不明	38w3d	飛び込み分娩	自然陣痛	陣痛後破水 1m			投与なし	×
427	タイ	その他機会 (児の判明を機に)	1999	不明	39w4d	分娩後にHIV判明	自然陣痛	陣痛後破水			投与なし	×
232	日本	その他機会 (児の判明を機に)	2000	感染	38w5d	分娩後にHIV判明	自然陣痛	26h42m			投与なし	×
281	日本	今回妊娠時 (18w)	2001	非感染	33w6d	陣痛発来、 陣痛前破水		5h53m	18w: 308 22w: 239	18w: 64000 22w: <50 32w: 100	20w~ AZT+3TC+NVP	○
318	タイ	今回妊娠時 (飛び込み分娩時)	2002	非感染	35w5d	飛び込み分娩	自然陣痛	人工破水 4m		P-6d: 1200	投与なし	×
326	ガーナ	今回妊娠時 (18w)	2002	非感染	38w3d	?	誘発陣痛	人工破水 3h	31w: 451 35w: 492	31w: 1200 35w: <50	31w~(28日間) AZT+3TC+NFV	○
366	タイ	今回妊娠時 (26w)	2003	非感染	39w	飛び込み分娩 (母体搬送)	自然陣痛	破水後 4h	39w: 150	39w6d: 40000	投与なし	×
393	日本	今回妊娠時 (飛び込み分娩時)	2004	非感染	33w5d	飛び込み分娩		破水後 5h	33w: 786	P-6d: 1500	投与なし	×

表 37 妊娠中に HIV 感染が判明していたが経膣分娩を施行した 8 例

ID	分娩年	国籍	感染診断時期	陣痛	破水後時間	在胎週数	母子感染	妊娠中 CD4	妊娠中ウイルス量 (コピー/ml)	妊娠中の抗ウイルス薬投与について	経膣分娩に至った理由	妊娠中の管理
96	1996	タイ	今回妊娠時 (14w)	自然陣痛	陣痛前破水 28時間	39w	非感染	37w: 388		投与なし	?	?
101	1996	タイ	今回妊娠時 (23w)	自然陣痛	40分	39w	非感染	23W: 153 34W: 305		投与なし	?	?
158	1998	タイ	今回妊娠時 (30w)	自然陣痛	4時間18分	37w2d	非感染			35W~37W AZT	?	○
214	1999	日本	今回妊娠時 (19w)			36w6d	非感染	19W: 575 35W: 1048	19W: 14000 35W: 800	AZT	?	○
281	2001	日本	今回妊娠時 (18w)		5時間53分	33w6d	非感染	18w: 308 22w: 239	18w: 64000 22w: <50 32w: 100	20W~ AZT+3TC+NVP	前期破水 陣痛発生	○
326	2002	ガーナ	今回妊娠時 (18w)	誘発陣痛	人工破水 3時間	38w3d	非感染	31w: 451 35w: 492	31w: 1200 35w: <50	31W~ (28日間) AZT+3TC+NFV	?	○
366	2003	タイ	今回妊娠時 (26w)	自然陣痛	4時間	39w	非感染	39w: 150	39w6d: 40000	投与なし	飛び込み分娩 (母体搬送)	x
505	2006	日本	妊娠前			39w	非感染	16w: 439 24w: 435 30w: 319 37w: 375		20w~40w AZT+3TC+NFV	高次病院に受診していたが、産院にて分娩	○